

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95

6

月号【1日発行】



ハナショウブ



いまを話す

教える側から学ぶ側へ転身した
東北大学名誉教授 酒井 博さん
サークル活動 楽しい多様な人との出会い

ふれあいサマーキャンプの参加者募集
生活を憩い楽しむ都市の核に岡本太郎美術館

◆ふれあいサマーキャンプの参加者募集 ————— 9

■ほんねインタビュー いまを話す ————— 4

教える側から学ぶ側へ転身の

東北大学名誉教授、酒井 博さん

サークル活動 楽しい多様な人との出会い

◆はりきってます グループ紹介 ————— 8

実用的な工芸品を作る

ウツディクラフト研究会(宮前区)

古文書に200年前の庶民を偲ぶ

川崎文化財友の会

■「生活を憩い楽しむ」これからの都市づくりの核

岡本太郎美術館が3年後に実現!

●学習・文化情報/会員募集 ————— 10

■世界的プリマドンナ E・オプラスツォフ演奏会

●ミニニュース・小誌配布場所 ————— 13

●ヴァレンティン・エルベン チェロリサイタル

前売り迫る/編集後記 ————— 15

◎表紙絵……………ハナシヨウブ ————— 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

第7回 かわさき新人音楽会公開オーディション出場者募集

川崎市に在住・在勤・在学する若い音楽家に音楽会出演の機会を提供し、地域の音楽文化を高めることを目的とします

- 開催日 平成7年7月16日(日)午前10時～(部門別に時間を指定)
- 会場 川崎市教育文化会館大ホール
- 参加資格 川崎市に在住、在勤または在学する15歳～35歳未満の方
(ただし、過去の本オーディション合格者は除く)
- 演奏種目 ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽、その他主催者が適当と認めたもの
(邦楽を除くクラシック音楽)
- 曲目 自由(オーディションと演奏会の曲は同一とすることが望ましい)
- 演奏時間 器楽10分前後・声楽5分前後
- 費用 無料(伴奏者の費用は自己負担)
- 審査員 ◇ピアノ部門 辛島輝治東京芸大教授、田頭喜久彌かーさ・むじかーれ
主宰ほか1人◇弦楽器部門 吉田貴寿昭和音大学長ほか2人◇管楽器部
門 富岡和男洗足学園大助教授ほか2人◇声楽部門 大里洋子洗足学園
大教授ほか2人 (敬称略)
- 申し込み 6月8日(木)までに☎044-422-3932 (土・日曜休み)の
問い合わせ (財)川崎市生涯学習振興事業団小杉分室文化イベント事務局へ電話で。

※ オーディション合格者は平成8年(1996年)1月14日(日)麻生文化センターホールで
開催の「'96かわさきニューイヤーコンサート」に出演していただきます

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団/川崎市教育委員会

サマーキャンプの参加者募集

自然の中で夏の思い出づくり

「可愛い子には旅をさせろ」との諺^{ことわざ}がありますが、当事業団では今年も夏休み期間中、「ふれあいサマーキャンプ」を下記の通り実施します。小中学生の皆さんの参加をお待ちします。

「ふれあいサマーキャンプ」は、川崎の小中学生が都会と親元から離れ、豊かな自然に恵まれた地方の農家や漁民の家にホームステイをし

て、地元の伝統文化や産業などを直接体験したり、その小中学生と交流をして、さまざまな発見と思い出づくりのため行います。5コースのまち・むらは川崎市と友好関係にあります。毎年、好評で定員を超えたときは抽選で参加者を決めます。ご了承下さい。

アイスクリームづくりに励む子供たち
(昨夏、中標津で)



久しぶりの土いじり。ジャガイモ掘りに熱中する川崎っ子
(昨夏、中標津で)



コース名	実施期間	対象定員	内容と交通手段	参加費
岩手県 東和町	7月27日(休)～ 30日(日) 3泊4日	小学4～ 6年 80人	自然がいつぱいの町でホームステイをしながら、農作業体験や地方の素朴な生活、人との出会いが魅力。往復新幹線。	2万6千円
宮崎県 東郷町 南郷村他 山コース	7月27日(休)～ 8月1日(火) 5泊6日	小5・6 年と中1 ・2年 80人	ゆったりした船旅とホームステイによって、地場産業としての木工作を体験し地元の人との温もりのある交流が楽しい。往復フェリー。	小学生 2万8千円 中学生 3万5千円
宮崎県 日向市 門川町 海コース	7月27日(休)～ 8月1日(火) 5泊6日	小5・6 年と中1 ・2年 60人	漁師の家でのホームステイで、大自然・海の営みや海を利用した生活の知恵などを体験。海洋知識が得られウキウキ。往復フェリー。	小学生 3万円 中学生 3万7千円
長野県 八ヶ岳	8月4日(金)～ 9日(水) 5泊6日	小5・6 年と中1 ・2年 50人	高原で草花にふれる山歩き、澄んだ夜空に輝く大きな星の観測。自然を生かした食事と地元の人との心温まる交流。往復貸し切りバス。	小中学生 とも 2万円
北海道 中標津町	8月21日(月)～ 24日(木) 3泊4日	小5・6 年と中1 ・2年 40人	北海道は大きい、酪農家の心も牛の体もかい。ホームステイや酪農体験、地元小中学生とのキャンプで新発見の連続。往復飛行機。	小学生 4万2千円 中学生 5万8千円

●応募は1人1コースに限る。6月17日(土)までに☎533-4461の当事業団河原町分室
▽☎952-5000の当事業団本部▽☎422-3932の当事業団小杉分室▽☎233-
6250の当事業団川崎分室のいずれかに電話で申し込む。定員を超えた場合は抽選。

いまを話す

ゲスト

教える側から学ぶ側へ転身の
東北大学名誉教授

酒井 博さん(73)

Vol.35



サークル活動 楽しい多様な人との出会い 自己実現し自然思う心を

「学びあい、高めあう」が生涯学習の理念。酒井博さん(73)は十年前、東北大教授を退官後、一市民として成人学校に通い、数々のサークル活動に参加。『教える側から学ぶ側へ』の転身である。「いろんな人に会えることが楽しい」「講師より学ぶ側の方が経験が豊かなので、一方通行の学習はダメ」と生涯学習実践者ならではの発言。「地球・地域環境問題が僕の学習テーマ」で残された都市の自然と共生するのが文化であり、「人間らしい生活」と言い切る。生田緑地に計画の美術館建設に批判的。「死ぬまで人間らしく生きるために『少しは努力をして時にはささやかな抵抗もやるか』と自分に言い聞かせているんです」。インタビュアーは椎野和枝さん。

——数年前、生涯学習振興事業団の市民企画講座「農のある暮らし」で、酒井さんのお話を聴き、都会の中に、農業を身近に引き寄せる考えに感激しました。

酒井さん どうも……。僕は、あの講座の企画メンバーの一人として、司会を担当したただけなんです(恐縮しながら)。

——川崎にいらっしやる前は、宮城県鳴子町にある東北大学農学部付属の農場・演習林で、教育研究をなさっていたそうですね。

酒井さん はい。二十二年間、

農学をやっていました、一年のうち半年は雪の中の生活だったんです。それで「第二の人生は都会の方が住みやすいかなあ」と思い、東北大を退官した十年前、多摩区寺尾台に越してきました。生まれが東京なので、都市での人間の生き方にも興味があったんです。

——川崎市民になられて、すぐに市民館活動に関わったのですか。

酒井さん ええ。一人で勉強するのもいいんですが、サークルでいろいろな問題について考え、意見を交換するのも魅力がありました。市民館の成人学校や地域セミナー「多摩区の緑・水・土」に参加しました。生涯学習振興事業団初の市民企画講座(一九九一年)の企画スタッフに応募し、自由に企画ができて大変おもしろかったですね(楽しそうに)。

——ほーお。ごく自然に「教える側から学ぶ側」に転換され、すばらしいというか、すごいと思います。過去の地位にこだわらないで、一市民として学ぶ姿勢は貴重ですね。

酒井さん そんなこと、あまり意識していません(困惑の表情)。なんといっても、いろんな人

環境問題解決に「農」切り離せぬ 土と緑排除は自殺行為

に会えることが楽しいんですよ。僕の生涯学習のテーマは、地球環境と地域環境問題だと思っているんです。

——川崎で活動されて特に感じることはなんですか。

酒井さん 農村と違い、密着したコミュニケーションがなく、それぞれの人が地域の中で孤立している



感じます。ですから、サークルでお互いに協力し学びあう、それが生涯学習のポイントだと思いますね。実際には、なかなか難しいことですが……。

——「学びあい、高めあうことが生涯学習の理念であり目的」とよく言われていますが、まだまだ

講義を一方的に聞くパターンが多ような気がします。

酒井さん そうですね。大学ではある程度、一方通行もやむを得ないと思うんです。でも、地域社会での学習は、それではいけません。講師より学ぶ側のほうが年齢が高く、経験も豊かな方が多いのですから。

——本場にそうですね。
酒井さん 僕は、いろいろな先生の話を聞いて「はてな」と思うことがあります。受講生が講義を媒体・タキキ台にして十分議論する。そして、それぞれの受講生も教える側もそこから謙虚に学び、成長することが大事なんです。

——いまのお話を聞いて「学びあい、高めあう」ことの実践的意味が分かりました(うなずきながら)。
酒井さん 生涯学習が「自分を高めるための勉強」では、たいてい意味がないと思うんです。

講義を聴き論議することで、お互いに個性を伸ばせると思うんです。——どうも日本人は、疑問を持つても深く考えない傾向がありますね。生涯学習を通して、自立的なサークルをつくり、社会的問題を避けなくて直視しないと……。酒井さんはそれに取り組んでいらつしやる。

酒井さん 環境問題は、ごく身近な事柄であると同時に、人類が生存できるかどうかの緊急性のある課題なんです。マスコミや行政が、だれもが関心を持てる内容を工夫して取り上げてほしいですね。

——酒井さんは、特に「環境と農業」を切り離せないテーマにしているようですが……。

酒井さん ええ。人間は都市に住んでいても食糧を必要とします



椎野和枝さん

が、都市住民は農林・水産・漁業への関心が希薄です。
——私は新鮮な野菜が欲しいので関心がありますよ(笑い)。でも、農家の野菜直売は安くはないですね。
酒井さん 都市の土地は一平方何十万円。だから、農業がなかなか成り立ちません。都市を囲むような近郊農業が理想なのですが、農業について、子供への教育も大切です。市民農園を授業に取り入

酒井 博 さん

さかい・ひろし=1922年、東京都渋谷区生まれ。東大農学部在学中に学徒出陣。終戦後、埼玉や茨城で農業教育を。63年から東北大学農学部付属農場・助教授、教授、同農場・演習林長を歴任し農場管理と農学の教育研究。85年、退官し川崎市多摩区に転居。多摩市民館の成人学校に参加し、地域で学習・サークル活動を。現在、「多摩区の緑と水を考える会」、「生田緑地の自然を守る会」、「地球環境研究会」、「多摩川と語る会」、「麻生サークル連絡会」などの会員。家族は妻、二女夫妻、孫2人。趣味は音楽。

女の生き方を
見つめる

椎野和枝さんが聞く

自然と共生する文化

生田 緑地

「川崎で生きていてよかった」まちを

れたらいいと思うんです。

私、広島の社宅にいた時、裏の空き地で、夫に教えてもらって、初めて子供と畑仕事をしたんです。食卓に出せるものを自分で作った収穫の喜びを感じました。

酒井さん 僕も市民農園で野菜を作り、自宅で鉢物を育てています。最近、もっぱら家内の世話になっていますが……(笑い)。

都市から農業が離れるのは、やむを得ない面がありますが、農業に無関心な子が増えるのは困ります。土や緑に触れると、不思議に気持ちが悪らぎますね。

酒井さん 農を勉強し頭に詰め込んでも、自然の緑に触れ体感しなければ駄目です。人間が人間らしく生きるようになったのは一万年。農耕文化が始まってからです。これを支えたのは土です。ところが、都市はこの土を「汚い、汚れる」と徹底的に排除してきました。でも、土があつて人間は生

きてこられたんです。

恵みの大地ですね。

酒井さん 葉っぱも都市の人間は軽蔑していますよ。植物の同化作用のお陰で人間は生きているのに「枯れ葉はごみだ」と思っています。人間が生きていける基本は空気と水です。このことは小さな



子供でも知っています。「都市の残された自然を大切に」というと変わり者みたいな目で見られるんですね(苦笑い)。

知識と実際の行動との「二重構造」ですね。

酒井さん 生田緑地がいい例です。九二年、市の環境保全局と多摩区役所、市民グループで「生田

緑地整備構想等懇談会」がつくられました。僕も「多摩区の緑と水を考える会」のメンバーとして話し合いに参加し、噴水広場には、なにも作らないで今のまま、次世代に渡そうという構想をまとめました。

ほー。

酒井さん ところが、九三年に岡本太郎美術館構想が発表され、生田緑地内に同美術館を造る計画が浮上りました。多くの知識人や市民が、あの計画に納得できないのは当然でしょう。

岡本太郎さんの作品は、世界的評価され、日本の彫刻界に質的变化をもたらしたと聞いています。川崎には全国に誇れる文化・芸術作品が少なく、施設もありません。そこで岡本太郎美術館を造り、文化を発信しようという話になったのだと思います。

酒井さん 僕の基本的考え方とは違いますね(やや語気を強め)。文化とは何か。人間が人間らしく生きることが文化なんです。都市生活者でも、身近なところに自然があつて「自然と一緒に生活している」との感覚が持てるのが大切ではないでしょうか。そういう

意味で、生田緑地を「自然文化の発祥の地」にすべきだというのが僕の考えです。

岡本太郎美術館建設そのものには反対ではないですね。

酒井さん 生田緑地の自然を壊して造るのは良くないといっているだけです。岡本作品は都会的彫刻なので、都市の中や川崎港など海の方に建立したほうがよく、川崎のイメージアップにもなると思うのです。

「自然を守り、生かすことが文化」ということですね。

酒井さん そこが大切です。生

椎野 和枝 さん

しいの・かずえ=1934年、京都市生まれ育つ。同志社教育を経て、毛利菊枝演劇研究所卒。59年、NHK婦人学級京都府世話人になり、農村・都会の女性たちと交流し女性の生き方を見つける。その後、広島女性史研究会に参加し「山陽路の女たち」(共著)を。80年から川崎に住み「女性の学習情報をつなぐ会」の「テキスト現代女性読本」(共著)や女性問題講座を手掛ける。91年から東洋大学特別研究会「21世紀の女性」や川崎の自主グループ「ぶらすI」のメンバーに。夫、二女と麻生区白山に在住。

田緑地そのものが「自然と共生する文化」です。あそこを散策し、土や緑に触れて自然の素晴らしさを実感し、「川崎で生きている」ことを誇れる環境教育の場にもなります。枳形山は、僕が幼いころ、よく遊んだところなんですよ。

——ところで、環境問題が深刻ですが……。

酒井さん むずかしいことです。環境の面から今の生活を見直



すことが非常に重要です。今の生活の中でやっていることが、地球・地域環境にいいのか、この生活習慣を今後も続けて大丈夫なのかを一人ひとりが考える時です。

——ゼいたくを抑制する？。

酒井さん 人間が、快適さや便利さを追求すること、そのものが間違いとは思いません。しかし、環境汚染、環境破壊が近い将来、人類や動植物の破壊、破滅そのものにつながる危険性があるのです。ですから、快適・便利だが、環境にマイナスなら、やめるべきです。

——身近な問題でありますか。

酒井さん ごみ問題です。毎日収集は確かに便利です。企業も市民も他都市よりごみを多く出している。翌日は目の前から消えている。分別収集にもリサイクルにも意識がいかないのは当たり前です。「毎日収集は五年後にやめる」という政策では駄目です。

——「二台目のクーラーは我慢して」と言っても、一台のクーラーもない家庭に「買うな」とは言えませんし、自宅のマンションも、多摩丘陵の自然を切り崩してできたのです。この矛盾が……。



酒井さん 僕が住む寺尾台も元は雑木林。自然を開発した所に住んでいますので……。

——阪神大震災によって、モノがあふれた暮らしを考えさせられた人がたくさんいるようです。

酒井さん いろんなきっかけで、今の暮らしを考え直すことができるとしよう。「暮らし方の方向転換を、この辺で」と考えている人が増えていることは事実ですね。

——「二〇五〇年が地球の危機」との説もありますね。

酒井さん 日本人にもっと危機感があってもいい。今の地球はエネルギー、環境、食糧、核、人口など問題だらけです。これまで人間に何ができたのでしょうか。

——二一世紀も間近ですが、環境についての見直しは。

酒井さん 科学がさらに発展しますが、重要なのは人間がそれを

どう活用するかです。三月にサリン事件が起りましたが、サリンはナチス・ドイツが開発した殺人兵器で、化学の悪用の典型です。

——近代科学の粋を環境問題の解決に役立てる世紀になると……。

酒井さん そうなることを祈念していますが、二一世紀は、人間が人間を思う心があるかが問われる世紀になると思います。弱いものを思う心、人間以外の生きものや植物を思う心。自然を思う心。これがないと人間は駄目になると思うんです。

——人間らしい心を持つには、なにが大事でしょうか。

酒井さん 生涯学習が非常に重要です。基本は自己実現ですが、自分を伸ばすことから、自分以外の人間、生物、自然への思いやりが育っていくと確信しています。

——大変な情熱を感じます。

酒井さん 死ぬまで人間らしく生きるために「少しは努力して、時にはささやかな抵抗もやるか」と自分に言い聞かせているんです(明るい笑顔で)。

人間らしく
生きるため

必要な努力と抵抗

「快適、便利ね」で地球破壊？

題字は高橋清・川崎市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 閑

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 作る作る。



クギ使わず整理箱 美しい木目いかし

立てる整理箱作り。木工研究家の本岡昭さんが用意した木材と設計図を頼りに「仕事」に励む。

中腰になり、木材に線引きをして、ノコギリがずれないように息を止め慎重にノコギリをひく中年の男性。切りかすが髪に飛び散るのも構わず、木にひびが入らないようにノミとカナツチで削る女性。

「うまく削るコツは何ですか」

「固い材質の部分削りは、木が割れないよう注意しないと。カナツチで二回たいたいたら、その都度、刃をと石で研がないと……」と秘訣を教え合いながら作業をする会員。穴を開ける位置を間違え、他の会員から「しやれたデザインになった」と慰められる人も。

実習室には、カナツチや電動工具の音が響き、床にはカンナくずが散らばり、木の香りがただよい活気が充滿している。

会員が電動ドリルや電動ノコギリを使う時は、本岡さんが付き添い、工具の安全な扱い方を助言、けがのないよう細心の注意を払う。この工程で、会員が四苦八苦したのが「組み手」作り。箱の側面に凹凸を付け、クギを使わずにかみ合わせて接合する部分。すき間

が出来れば、苦勞は台無しになる。きれいな直角になるように心血を注ぐ。

四カ所の組み手と底を組み立てて形を整え、整理箱が完成した。それぞれ素材の持つ木目がデザインになる。

同会の発足は三年前の冬。宮前成人学校の受講者でスタート。

樫沢恵津子さん(52)は「家庭で使うものを作るので楽しい。周りの人に教わりながらやっていきます」と笑顔。

鈴木敬一郎さん(58)は「私が作った作品に女房が絵を描きます。将来は家の家具を作りたい」と意欲を燃やす。

海老沢国夫さん(66)は「木に囲まれた生活は、心が落ち着きます。技術の上達が作品の出来のよさになるので楽しい」とにつこり。

阪口代表は「天然素材の日用品に囲まれた生活は格別。作品作りと木工の基本が学べる会です」と参加を呼び掛けている。

同代表宅は、多摩区菅馬場三の一〇の一三。☎(944)1225。

実用的な工芸品を作る

ウッドクラフト研究会 (宮前区)

ブックエンドやメモ台、引き出し付き電話台など家庭で使える実用的な木の工芸品作りをしている「ウッドクラフト研究会」の阪口雄代表(70)ら十人は、毎月第一土曜の午後、宮前文化センターで器用に手を動かす。この日は、クギを使わずに組み

文 / 小誌・山本綾子
カメラ / 小誌・熊野史子

古文書に20年前の庶民を偲ぶ

川崎文化財友の会

昔の庶民の営みをしのばせる文化財に触れ、その当時の生活に思いをはせ、胸をときめかせているのが「川崎文化財友の会」のメンバー十七人。土居喜美子代表(69)。

「川崎都民」「東京と横浜の文化の谷間」など、とかく地域への関心の薄さが指摘される川崎市民だが、会員は週一、多摩区生田の日本民家園で川崎の歴史をひもとき、郷土愛を高めている。

いま、研究に取り組んでいるのは、高津区久本で代々医者をついでいた「岡家」の古文書の基礎調査。地方文書」といわれる地方の農村に残された文書で、お金の貸し借りや田地畑の借用証文など、ところどころに虫食いがあるが、きれいに保管されていて、古文書とは思えないほど。質の良い和紙に、墨の香りが漂うような錯覚を覚える。「二百年前の文化・文政の頃の墨字が昨日、書かれたかのよ

うに鮮やかに語りかけてくる。読むことすら難しい書を、一文字一文字、丁寧に追う会員。文書を解読した後、分類して封筒に詰める。

江戸時代の庶民、「八兵衛さん」「彦右衛門さん」らが年貢を納められず暮らしてに困り、お金を借りたことが時を越えて分かり、無性に親近感を覚えるという。同会の発足は昭和五十四年。市教育文化会館が五十三年から始めた「婦人ボランティア講座」で、川崎の歴史や文化財の学習をした受講者有志の集まり。

時を越えて貧しい八兵衛さんに親近感



最初の活動は、市内の庚申塔(猿の石像仏)の訪ね歩き。娯楽のなかつた庶民が、庚申塔を拝み「講」という会合を開いて、交流をして、うち溶けている雰囲気、会員に伝わり、心が躍ったという。その後、道標を調べ、「かわさきのみちしるべ」の出版に貢献。その地道な努力が評価されてか、日本地名研究所(谷川健一所長)の依頼で「宮前区の地名」の調査をした。

「貴重な文化財の実物に触れられ幸せ。歴史の裏が見えるようになって旅の楽しみが倍増しました」と藤沢八重子さん(61)。

退職後、川崎を知ろうと入会した宮千代寿恵子さん(74)は「新しい発見が新鮮。皆さんから知恵をもらって帰ります」と嬉しそう。土居代表は「見過ごしがちな石仏や古建築、衣食住などを調べ、川崎の歴史を実感でき、生活の視野が広がります」と活動への意欲を語る。

同代表宅は、麻生区百合ヶ丘二の一の四。☎(966)0012。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「さらに使いこなすワー

プロ講座◆市教育文化会館

7月18日(火)〜20日(木)

10時から。対象は市内在住

在勤者で基礎知識を習得の

方。使用機種はNEC P

C9801DXIU。受講

料1万1千円、教材費千5

百円。定員15人(抽選)。

申し込みは6月16日(金)

〜25日(日)に☎(2222)

6250の市生涯学習振興

事業団川崎分室(主催)。

①はなしようぶの鉢作

り②夏の庭木管理◆市緑化

センター①は6月30日

(金)。教材費5百円②は7

月7日(金)。いずれも時間

は13時半から。対象は市内

在住在勤者。定員30人(抽

選)。申し込みは①6月20日

(火)②28日(水)までに

往復はがき(1人1枚)に

講習会名、住所、氏名、電

話番号を記し〒214多摩

区宿河原6の14の1、同セ

ンター ☎(911) 21

77。

「桜美林大学春期講座◆

同大学外国語センター」6

月15日(木)午前は聖書に

おける「男と女」の問題。

講師は柳原鏡太郎・同大学

講師▽午後は中国21世紀へ

の課題。講師は大野静三・

文化女子大教授。22日(木)

午前は音楽鑑賞モーツアル

ト。講師は長門石幸子・桜

美林学園オルガニスト▽午

後はクリントンのアメリカ

〜日米関係のこれからを考

える。講師は内藤頼誼・前

朝日アメリカ社長。29日

(木)午前は中世・近世の

ことばを考える。講師は林

三郎・元同大学文化学部教授

▽午後は美術鑑賞ラファエ

ロ。講師は末永照和・同大

学名誉教授。いずれも時間

は午前が10時半から、午後

が13時から。受講料は1回

千円。申し込みは、はがき

に氏名(フリガナ)、住所、

郵便番号、電話番号を記し

〒194102町田市常盤

市外局番のないものは044

学習・文化情報

町3758、同大学外国語

センター。問い合わせは☎

0427(97)2661

内線276の同所JR横

浜線淵野辺駅からバス。

①人形劇研修会②クリ

イティブキャンプ研修会

◆県立高津青少年会館①

は6月15日〜8月3日の毎

週木曜19時から、全8回②

は6月16、23、30日の木曜

19時からと7月9日(日)

10時から、全4回。対象は

青年。いずれも定員20人。

申し込みは☎(844)2

101の同館。

「文化講演会◆麻生老人

福祉センター」6月14日

(水)13時半から。劇団民

藝の俳優・演出家、米倉斉

加年さんが「私の歩いてき

た道」と題し講演。対象は

市内在住の方。入場無料。

定員先着2百人。申し込み

は☎(966)1549の

同センター。

「フラワーアレンジメン

ト入門編◆麻生老人福祉セ

ンター」6月22、29日の木

曜10時から。講師は野村良

子さん。対象は市内在住の

60歳以上の方。費用は約2

千円。定員は各先着15人、

受講希望日を選ぶ。持ち物

は花はさみ、ナイフかカッ

ター、筆記具。申し込みは

6月1日(木)から☎(9

66)1549の同センタ

ー。

「女性セミナー◆県川崎

合同庁舎」6月22日〜7月

11日(7月4日を除く)の

毎週火・木曜18時から、全

5回。テーマは「新しい富

の創出システム〜変革期の

リーダーシップ」。講師はイ

ド・ビジネスプロモーション

の伊沢喜美子所長。受講

無料。定員30人。申し込み

は☎(233)7351内

線284の県川崎労働セン

ター労働福祉課(主催)。

①言葉美人になる②

自分発見入門◆登戸ドレス

メーカー学院①は6月17

日(土)。「心をみずみずし

い言葉にのせて」と題した

スピーチ編▽「絵本や詩を

通した親と子のふれあい」

と題した朗読編。講師は澤

田啓子・レッドオニオン主

宰②は6月19日(月)。チエ

ックシートとカウンセリン

グで楽しく自己発見。講師

は塚田尚子・こころコーデ

ィネーター。いずれも時間

は10時から。受講料は千円。

申し込みは月〜土曜の午前

中に☎(911)2221

の同学院▽小田急線向ヶ丘

遊園駅北口下車。

「ワープロ教室①入門コ

ース②基本コース◆東芝科

学館①②とも6月14日

(水)15日(木)で①は9

時半から。対象は初めてワ

ープロを打つ方。②は13時

から。対象は自由に文章を

作ってみたい方。いずれも

1人1台のワープロで親切

に指導。参加無料。教材費

千円。申し込みは☎(54

9)2200の同館。ワー

プロ教室担当。同館はJR

川崎駅からバス。

「知的障害福祉講座◆福

祉バールかわさき」7月1、

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



「はなしようぶの品種展
◆市緑化センター」6月13
日(火)〜25日(日) 9時
半〜16時。百品種を開花に

8日の土曜10時から。知的
障害者と住みやすい地域を
つくるため今、何が必要か
を考える。参加無料。定員
先着30人。申し込みは6月
12日(月)から☎(246)
5500の川崎区社会福祉
協議会。会場はJR川崎駅
下車、パレール住宅棟3階。
「福祉体験講座」ふくし
探偵団◆特別養護老人ホー
ム・恒春園」7月26日(水)
▽27日(木)▽28日(金)
いずれも10時から。施設見
学や車いす操作、介護体験
を通しお年寄りと交流を深
める。対象は川崎区に在住
在学の中高校生かその年齢
に該当者。全日程に参加で
きる方。参加無料。定員先
着15人。申し込みは6月12
日(月)から☎(246)
5500の川崎区社会福祉
協議会。同園はJR川崎駅
下車。

応じて展示。月曜休園。問
い合わせは☎(911) 2
177の同センター。
①市民天体観望会②天
体写真撮影会◆市青少年科
学館」①は6月24日、7月
8日の土曜19時半から。火
星、月などを観望。雨、曇
りの時はプラネタリウムで
星の話②は7月9日(日)
19時から月(月齢11日)を
撮影▽8月6日(日)18時
半から木星を撮影。対象は
小学5年以上。定員14人。
持ち物はフィルム、1眼レ
フカメラ。雨、曇りは中止
①②とも参加無料。小学生
以下は保護者同伴。申し込
みは①不要②は9日が6月
11日(日)、6日が7月9日
(日)の9時から☎(92
2) 4731の同館。
「川崎のタンポポ展◆市
青少年科学館」6月7日
(水)から「1994市域
のタンポポ調査」の結果を
交えて紹介。月曜休館。問
い合わせは☎(922) 4
731の同館。
「親と子の地層探検教室
◆生田緑地」7月8日
(土)10時15分、市青少年



科学館に集合。対象は小学
生以上。定員先着30人。筆
記具を持参し歩きやすい服
装で参加。雨天中止。申し
込みは6月20日(火)9時
から☎(922) 4731
の同館。
「土器をつくるI・II◆
市青少年科学館」Iは6月
24日(土)、IIは7月16日
(日)10時集合。対象は2
回とも参加できる方。参加
無料。定員15人。弁当、筆
記具を持ち、汚れてもよい
服装で参加。申し込みは6
月16日(金)9時から☎
(922) 4731の同館。
「障害者青年教室「日曜
ふれあい広場」ボランティア
ア募集◆高津市民館」6月

川崎音楽文化連盟創立3周年記念

愛のチャリティー市民コンサート

世界的プリマドンナ **E・オブラスツォワ** (メゾソプラノ)
ピアノ ヤン・ホラーク

日時—7月10日(月)午後6時30分 開演

会場—エポックなかはら(JR南武線武蔵中原駅前)

入場料—A席 ¥5,000 B席 ¥4,000

曲目—リムスキー=コルサコフ: たなびく雲も晴れ渡り ▼チャイコフスキー: 春まだ浅いころ
▼マスネ: 歌劇「ヴェルテル」より「流れよ、涙」▼サン=サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」
より「愛よ、わたしに力を貸して」▼ビゼー: 歌劇「カルメン」より「恋は野の鳥」
▼ヴェルディー: 歌劇「トロヴァトーレ」より「炎は燃えて」 ほか

◆申し込み・問い合わせ 6月12日(月)から、往復はがきに住所、氏名、電話番号、チケット枚数
を記し、〒210 川崎市川崎区宮本町6 川崎市教委文化課内「市民コンサート係」☎ 200-3305
または、☎ 952-5000 の当事業団(小田急線新百合ヶ丘駅下車2分)などでも直接チケットを販
売する予定。

主催/川崎音楽文化連盟 共催/川崎市教育委員会 財川崎市生涯学習振興事業団

学習・文化情報

魅力的なスポーツがある

11日〜来年3月のおもに第2日曜10時から。知的障害者と一緒に体験学習、レクリエーション、料理作りなどをする。写真(昨年12月写す)。問い合わせは☎(833)7411の同館。

〔市民天体観望会◆川崎授産学園〕7月8日(土)19時から。月面、木星、夏の星座を観望。参加無料。雨天の時は室内で天文集会。小学生以下は保護者同伴。問い合わせは☎(954)5011の同園。

①わくわく実験教室②サイエンスショー◆東芝科学館 ①は6月10日(土)10時と13時から。「見えない光、赤外線と紫外線」をテーマに実験を中心に説明。定員各250人②は24日(土)10時半、13時、15時からの3回。内容は、液体窒素を使った実験「マイナス196度の世界」、▽物体が浮上する現象実験「これが超電導」▽雷の体験「びっくり静電気」。定員250人。①②とも入場無料。申し込みは①のみで☎(549)2200の同館 J R

川崎駅からバス。②は自由参加。

スポーツ

〔暑中げいこ空手道、剣道、少林寺拳法、なぎなた、柔道、合気道◆石川記念武道館〕7月21日(金)〜23日(日)10時から、全3回。参加無料。定員は剣道百人、他は50人。申し込みは7月9日(日)9時55分に同館に直接来館☎(544)0493。

〔社交ダンス入門◆県立高津青少年会館〕6月7日〜7月5日の毎週水曜18時半から、全5回。対象は青年。定員20人。申し込みは☎(844)2101の同館。

ギャラリー

〔会館とどろき〕6月20日(火)〜7月3日(月)「教職員美術展」。造形教育連合会主催。同所は☎(733)3333 J R南武線・東横線武蔵小杉駅からバス。

〔ギャラリー幸〕6月2日(金)〜7日(水)弥原(やわら)公衆「薔薇のファンタジー」展。同所は☎(555)8181 J R川崎駅西口下車徒歩5分。

〔中村正義の美術館〕6月11日(日)まで「若き日の正義」展。▽17日(土)〜7月23日(日)、正義の生涯のテーマとなった顔の作品を集めた「顔・顔」展。入館料一般500円、学生300円、小中生200円。同所は☎(953)4936 小田急線読売ランド前駅が京王線よみうりランド駅からバス。

〔川崎市市民ミュージアム〕6月11日(日)まで、「安野光雅の世界」展。不思議な旅に迷いこむ空想と夢の世界が楽しめる▽7月16日(日)まで漫画ギャラリーにて「国際読売漫画大賞傑作選展パートII」。観覧料は一般700円、小・中・高・大生300円。同所は☎(754)4500 J R南武線武蔵小杉駅からバス。

〔ミニ画廊喫茶〕6月1日(木)〜24日(土)、

「田口茂昭写真展」。同所は☎(544)0507 J R南武線鹿島田駅下車。同所は壁面を一般に無料提供している。

〔かわさきB M市民文化ギャラリー〕6月17日(土)まで「さまざまな眼70・母袋俊也展」同所は J R川崎駅そばのB Mビル2階。問い合わせは☎(222)8821の川崎市文化財団。

ステージ

〔ハンガリー・カンテムス少年少女合唱団演奏会◆エポックなからは〕7月18日(火)18時開演。曲目は、コダーイ「エジエテム・ベジエテム」天使と羊飼いの▽バルドシュ「ヘンルーダの花がさいたら」ダナ・ダナ▽カライ「跳ねて踊る」▽タベの歌声▽プリテン「キャロルの祭典」▽フィッシュヤー「アベ・マリア」▽日本の歌「会津磐梯山」「ほたるこい」他。指揮はデーネシュ・サボー。ピアノはユリア・サントー。入

場料は全席自由で前売り2千500円▽当日3千円。問い合わせは☎(866)4506のタウンライブ(主催)。

〔高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなからは〕6月11日(日)14時開演。曲目はドヴォルザーク「交響曲第9番」新世界より▽ビゼー「アルルの女第2組曲」▽ベートルヴェン「エグモント序曲」。指揮は末永隆一さん。入場料は全席自由で500円。問い合わせは☎(945)7908の奥笠さん。

会員募集

●痴呆性老人のグループホームを設立する会(中原区上丸子山王町2の1208、鈴木孝子代表)痴呆性老人が「人間らしく豊かに生活していきけるよう、地域にグループホームを誕生させよう」と活動しています。準備活動を共にしませんか。月例会と「痴呆ってなに?」と題する勉強会を毎月1、2回、小杉駅周辺で開

ミニミニニュース

風雨も隣人愛で成功

中原区の民間福祉作業所「ひかりの家」のバザーが、強風と雨の4月22、23日にあり、ボランティアの人が

「バザー用品をぬらしては」と頭を痛めたが、隣りの主人が「うちの車庫を」と車5台分の空間を提供、町内会もテントを貸与。地域の協力で初のガレージセール。**丸山さんの演奏に拍手**
東京のこまばエミネナス

で4月28日「スパシーバコンサート」があり、麻生区白山、丸山朋文さん(東京芸大附属音楽高1年)が出演、ポツパーの「チエ口協奏曲短調第2・3楽章」を演奏し拍手を浴びた。昨夏、中3の丸山さんは、か

わさき新人音楽会公開オーディションに合格、吉田昭和音大が長が絶賛。今回の演奏会はモスクワ・コンセルバトリア・マスターコース・イン・ジャパンに公費、モスクワ音楽院教授から折り紙付きの10代の21人の舞台。

中原・東柿生両郵便局も協力

小誌の配布場所179カ所に

小誌は各区役所、支所、出張所、市民館、分館、図書館、保健所、社会福祉協議会と次の所で配布しています。

〔川崎区〕さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽川崎信用金庫本店・川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・藤崎出張所▽横浜銀行川崎支店・大島支店・大師支店▽住友銀行川崎支店▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川崎支店▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎BE店・アゼリア店▽当事業団情報

コーナー(教育文化会館1階)▽県立川崎図書館▽市立体育館▽青少年センター▽市役所市民相談室▽労働会館内労働資料室▽ヨネツティー堤根▽サンライフ川崎▽浮島町公園▽川崎マリエン▽川崎行政サービスコーナー▽川崎愛泉ホーム▽かわさき情報プラザ▽パン工房「ババゲーノ」▽ライプハウス「JAZZびあにしも」

〔幸区〕川崎信用金庫鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所▽横浜銀行御幸支店・鹿島田支店▽石川記念武道館▽幸スポ

ーツセンター▽産業振興会館▽県立勤労女性会館

〔中原区〕川崎信用金庫

新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・武蔵中原支店・向河原支店・荻宿出張所▽横浜銀行武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店▽神奈川県労働金庫中原支店▽市立井田病院▽市民ミュージアム▽エポック

なかはら▽中小企業婦人会館▽総合自治会館▽会館とどろき▽フードハウス大野屋小杉店・住吉店・中原店▽国際交流センター▽小杉行政サービスコーナー▽公文書館▽中原郵便局

〔高津区〕川崎信用金庫

子母口支店・高津支店・二子新地出張所・久地支店・野川支店・梶ヶ谷支店▽横

濱銀行溝口支店▽さくら銀行溝口支店▽東京電力高津営業所▽市民プラザ▽イトーヨーカドー溝口店▽溝ノ口郵便局▽大山街道ふるさと館

〔宮前区〕川崎信用金庫

向ヶ丘支店・有馬支店▽横浜銀行鷺沼支店・川崎北部市場支店▽住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大学▽青少年の家

〔多摩区〕川崎信用金庫

稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・読売ランド駅前支店▽横浜銀行登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ランド駅前支店▽JR登戸駅▽東京電力生田営業所▽画廊ランブ屋▽登戸ドレスメーカー学院▽日本民家園▽青少年科学館▽青少年創

作センター▽フルーツパーク▽緑化センター▽伝統工芸館▽フードハウス大野屋長尾店

〔麻生区〕川崎信用金庫

柿生支店・百合丘支店・新百合丘支店▽横浜銀行百合丘支店・新百合丘支店・柿生支店▽住友銀行新百合丘支店▽さくら銀行柿生支店▽神奈川県労働金庫新百合丘支店▽つつみ歯科新百合丘▽ホワイイト急便金程店▽有隣堂新百合丘支店▽麻生スポーツセンター▽福祉バルあさお▽川崎新都心情報センター▽ヨネツティー王禅寺▽黒川青少年野外活動センター▽ゆりすとア百合丘本店・柿生支店▽東柿生郵便局

「生活を憩い楽しむ」これからの都市づくりの核 岡本太郎美術館が3年後に実現!

世界的洋画家で彫刻家の岡本太郎氏の絵画や彫刻を一堂に展示する「岡本太郎美術館」(仮称)は、川崎市多摩区の生田緑地に1998年度(平成10)の完成をめざし、建設計画を進めている。岡本太郎氏は、70年の大阪万博会場の「太陽の塔」を建設し、「芸術は爆発だ!」との流行語を生み出すなど、広範な人々の支持を得ている。岡本太郎美術館の完成は「これからの都市は住み、働く場であると同時に、生活を憩い、楽しむ場としてもますます大事な役割を担い……新しい時代に向けて、新しい価値と情報を発信できる、活気あふれる都市づくり」(川崎新時代2010プラン)に欠かせず「自然と文化が融和した学びあえるまち」(同)の実現に貢献するものと期待されている。

●建設に向けての経過 岡本太郎氏が川崎市に寄贈したのは、同氏が制作した絵画、彫刻、レリーフ、版画などの作品約1800点。93年(平成5)7月、高橋清市長が記者会見でこれを公表。すべての新聞・テレビが“全国向けニュース”として大きく報道した。その価値の総額は300～500億円ともいわれ「極めて価値ある芸術作品の寄贈」と報じられた。

さて、岡本太郎氏は、川崎で生まれ育った小説家で歌人の岡本かの子を母に、漫画家の先駆者、岡本一平を父に1911年2月、川崎で生まれた。太郎氏は39年、パリ大学民族学科を卒業したが、その間、ピカソの作品に出あい感動。彼が制作した抽象画は、世界的批評家から高い評価を受け、36年に制作した「傷ましき腕」は国際シニールレアリスト・パリ展の招待出品になった。戦後、二科会会員になり50年、東京・高島屋での「現代絵画15人展」に出品して評価を確立。また56年、旧東京都庁舎の陶板壁画を制作し、フランスの「今日の建設」誌の国際建築絵画大賞を受賞した。

川崎市は、岡本太郎氏のこれらの業績を踏まえ、91年(平成3)12月、政策調整会議で氏の絵画、彫刻などの作品を永久保存し、その業績を顕彰して「世界に誇れる全市民の共有財産」にすると同時に、かの子・一平の両親の作品をも展示する「独立の美術館」を建設することを決定した。そして、93年(平成5)4月「基本計画策定委員会」を設置、同年7月まで委員会を精力的に開き「仮称岡本記念館建設基本計画書」をまとめた。

この生田緑地に同記念館を建設する基本計画について、同年9～翌年9月、市民から「建設促進」「建設計画変更」の請願・陳情が13件提出

された。これと前後して、市は生田緑地で環境調査を実施する一方、93年11、12月と94年(平成6)2、3月、関係団体や住民に説明会を開き、岡本作品や記念館建設の意義、川崎のまちづくりについて説明し理解を求めた。

しかし、「岡本太郎美術館建設用地の変更を求める請願」が94年5月、教育委員会に出され、今年2月の教育委員会臨時会は、これを不採択とした。また、市議会第1常任委員会は、請願・陳情13件を継続審査とした。

●これまでの経緯と今後の推移 生田緑地を計画予定地とする岡本太郎美術館建設計画は93年7月、高橋市長が公表した後、環境保全局の「生田緑地整備計画」との整合性を十分考慮するため「同緑地のどの場所に建設することが、もっともよいか」を検討し、緑地の10.5%についての第1次環境調査を同年11月から翌年2月までに実施し、そのデータや総合的判断に基づき「建設場所を特定」した。さらに昨年(平成6年)6月から約半年、第2次環境調査で、特定した建設予定地とその周辺について詳細な調査を実施して基本設計に反映させた。両環境調査による環境影響予測によつて、環境への影響を最小限に止め、失われる緑の回復に努める実施設計を平成7年度に作り、98年度(平成10)の完成をめざしている。

●おもな展示の構成 企画展示場▽常設展示場(太郎の部屋・アトリエ展示場)▽テーマ特別展示場▽記念的展示場▽一平・かの子の展示場▽野外展示場▽映像コーナー▽子供たちが作品に触れて遊ぶアクチュアル展示……など。

●お問い合わせ ☎(533)0635の市教委岡本太郎美術館準備室=幸区河原町1番地。

編集後記

長引く不況、円高、阪神大震災、毒ガスサリン事件と、今年はずいっと暗いニュースばかり▼ゴルフデンウィークも雨にたたられ、半年が過ぎようとしています▼教年前までは、諸外国から「世界一お金持ちの国」ジャパン・アズ・ナンバーワン」世界でもっとも安全な国」と羨望のまなざしで見られていました▼その神話もろくも崩れたわけです▼今年は「戦後五十年」ですが、あの戦争に突入する前後、「神国である大日本帝国が大東亜共栄圏をつくる」現人神あらひとがみのいらつしやる大日本は、鬼畜米英との聖戦に負けるわけがない」などの戦争不敗神話が作られました▼その結果は、日本とアジアの諸国民に多大の犠牲を強いました▼オウム真理教の常軌を逸した「教義」と行動には慄然と

します▼麻原尊師を現人神とあがめ、クーデターによって、「オウム帝国」の実現を企図していた、とマスコミは報じています▼一般には「劇画の世界」と映つても、閉鎖社会のオウム真理教内では、麻原尊師の予言は絶対です▼神話は、閉鎖社会が情報操作によつて真実味を帯びますが、必ず崩壊します▼問題は神話崩壊後に「善意の人々」の心身が、長く荒廃し傷付くことです▼高学歴社会、情報化社会の中で、人間の知識は確かに豊富になりました▼しかし、一連の出来事で、「知識・知能と生活の知恵とは別なもの」との感じがします▼人間社会は読み書きをふくめ、先人の知恵や歴史から学び発展してきました▼人間の賢さは、自分の頭で考え、自分の責任で行動する自立性にあります▼このへんで、教育・学習の原点とは何かを考える必要があります。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話(〇四四)九五二一五〇〇〇 FAX(〇四四)九五二一三三三〇

編集人 田中 園

同 事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の三 教育文化会館一階
電話(〇四四)二三三三二一五〇

(財)川崎市生涯学習振興事業団5周年記念コンサート

ヴァレンティン・エルベン チェロ・リサイタル

—— 世界一の實力と人気をもつアルバン・ベルク弦楽四重奏団チェリスト ——



9月19日(火) 午後6時半開演

洗足学園前田ホール (南武線武蔵溝ノ口下車)

出演 ヴァレンティン・エルベン(チェロ) 竹内祥子(ピアノ)
曲目 ベートーヴェン: チェロソナタ第2番作品5の2ト短調
ストラヴィンスキー: イタリア組曲 ほか

※ 曲目は変更する場合があります。ご了承下さい。

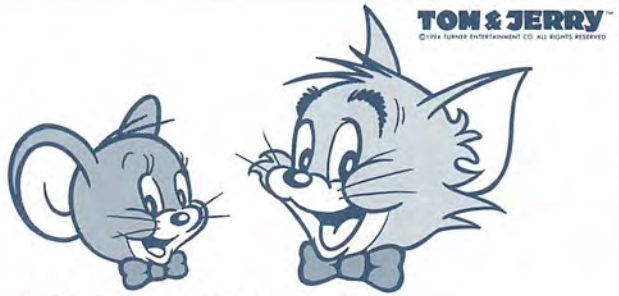
入場料 2,500円(全席指定)

6月29日(木)午前10時 前売り開始

お申し込み (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎952-5000
問い合わせ 同小杉分室 ☎422-3932 同川崎分室 ☎233-6250

(主催) 川崎市生涯学習振興事業団

“ゆとり”に
差がでます。



年金のことは〈はまぎん〉へご相談ください。

年金の「受取手続き」をはじめ、
いろいろなお手伝い。

年金受取ご予約サービス

年金のすべてを専門家が
分かりやすくご案内。

〈はまぎん〉の年金教室

毎月15日、年金自動受取をご利用の
皆さまに「特設窓口」を開設。

〈はまぎん〉年金感謝デー

お問い合わせ・お申し込みはお近くの〈はまぎん〉へどうぞ。

お問い合わせ・お申し込みは  **横浜銀行** 川崎支店 (044)222-5521(大代)

ぜひたく
贅沢しませんか? 日常生活で……

わが家でプロのマッサージと健康によい水

モミモミ タタキ
宥 けんせい 聖



布地/丸編み
EP575F(ページュ)
標準価格 175,000円(税別)

医療用具番号63B1997
①こぶし感覚のタタキマッサージ。
②強力ポイントもみ付。

タタキパイプ



EV278標準価格 11,000円(税別)

- ①速さ調節でタタキ、
振動が選べます
- ②速度運動型パワーコントロール付
- ③指感覚のフィンガー
アタッチメント付



ナショナル
アルカリイオン整水器
ミストピア

TK737-W(白)
標準価格 110,000円(税別)

快適を科学するナショナル製品が 格安で

カタログのご請求
お問い合わせ

☎ 044-954-4154

(株)ヒューマンテック
コーポレーション

〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306